

「市政 ここが聞きたい」

一般質問



議会動画配信

1	松永 憲明 (ネットワーク佐賀)	◎教員の欠員状況の根本的問題とその解決について ▶ 8名超の特別支援学級編制の在り方について ▶ 部活動の地域移行への取組について
2	江頭 弘美 (自民さが)	◎立地適正化計画について
3	藤田 佳典 (ネットワーク佐賀)	◎デジタル地域通貨について ▶ 佐賀市を舞台とした映画制作における市の対応について
4	村岡 卓 (公明党)	▶ 災害後の対応について ◎不登校対策について
5	永淵 史孝 (自民政進会)	▶ 地域と学校の協働活動について ◎デザインマンホールについて ▶ コミュニティカフェについて
6	山田 誠一郎 (ネットワーク佐賀)	取り下げ
7	堤 正之 (自民政進会)	◎佐賀唐津道路の整備促進について ▶ 新教育長の方針を問う
8	嘉村 弘和 (自民政進会)	◎コンパクトシティに向けた取組について ▶ 交通局舎建て替えについて
9	西岡 真一 (自民清流)	◎学校給食におけるアレルギー対応について ▶ 人口減少問題について ▶ 立地適正化計画について
10	千綿 正明 (自民さが)	▶ 防災対策について ▶ L G B T理解増進法に対する佐賀市の対応について ▶ D Xの推進体制について ▶ 外国人の年金の脱退一時金について ◎小学生の送迎の問題について
11	野中 宣明 (公明党)	◎佐賀市南部地域のまちづくりについて ▶ 中学校の部活動について
12	諸富 八千代 (自民政進会)	▶ 新教育長に問う ▶ 部活動の地域移行について ◎生理的貧困について
13	中野 茂康 (緑楠自民)	◎2023佐賀インターナショナルバルーンフェスタについて ▶ 農業振興について ▶ 漁業振興について
14	川崎 健二 (自民さが)	◎佐賀市の学校教育の現状と課題を問う ▶ 佐賀駅周辺の駐車場、駐輪場について

15	稲葉 高広 (自民さが)	▶ 市が管理する道路の維持・修繕について ◎市職員の人材育成について
16	中島 妙子 (公明党)	◎人と犬や猫などの動物が共生する社会について ▶ 带状疱疹ワクチンについて
17	福井 章司 (自民政進会)	◎G I G Aスクールについて ▶ 松原公園整備について ▶ カラス対策について
18	江口 善己 (ネットワーク佐賀)	◎道路行政について ▶ 市の花「サクラ」について
19	富永 明美 (ネットワーク佐賀)	◎子どもの医療費助成制度の拡充について ▶ 老人福祉センターについて ▶ 大谷翔平選手からのグローブ寄贈について
20	山下 明子 (市民共同)	◎佐賀空港への自衛隊・オスプレイ配備計画について、市長の見解を問う ▶ こどもの権利条例制定を〜こどもを主体とした条例についての市の認識を問う▶ 加齢性難聴者の補聴器購入への助成を▶ 原子力防災訓練を踏まえ、原子力災害時の対応について
21	重松 徹 (自民清流)	◎水道料金の格差是正について ▶ 年取の壁の問題について
22	中村 宏志 (公明党)	◎市有地や公園・広場等の利活用について
23	御厨 洋行 (自民清流)	◎神野公園再整備計画について ▶ 佐賀インターナショナルバルーンフェスタについて ▶ シティプロモーションについて
24	宮崎 健 (自民さが)	◎公共交通の在り方について ▶ S A G Aタベスケについて
25	平原 嘉徳 (自民清流)	◎本市の人口減少の状況とその対応について ▶ 保育行政について ▶ 市長の政治姿勢について
26	川副 龍之介 (自民さが)	◎中小企業・小規模事業所への支援について ▶ 子育て支援について
27	黒田 利人 (緑楠自民)	◎島義勇公の功績をたたえる施策について ▶ 丹宗新教育長に問う

議員名の番号は、質問順、() 内は会派名、掲載は大項目のみです。
◎がついている項目は、次ページ以降に質問と答弁の概要を掲載しています。



教員欠員の根本問題の解決を !!

(ネットワーク佐賀)
まつなが けんめい
松永 憲明



1



自発的勤務? これって仕事じゃないんですか?

お母さん、まだ休まないの?

問 年度当初から20名以上の教員の欠員が続く、補充ができていないなかで①教員の仕事に特に魅力的であると感ぜられなかった根本的原因は②特別支援学級の人数が増え学級増となっている要因は何か③協力共同の職場体制を含めた働き方改革をどう進めるか。

答 ①国民の考え方や価値観が多様化する中、魅力的な仕事ではあるが多忙で時間外勤務が多く保護者対応が大変というイメージがあり、人が集まりにくくなっていると考える②特別支援教育に対する理解が深まり、子どもの特性に応じた学びへの思いが尊重されるようになったこと③ICTの活用により子どもと触れ合う時間を生み出すことや、教職員が互いに得意分野のアドバイスや手助けを行い、相談ができるような職場環境を作っていくことが重要。



立地適正化計画！なぜ、今策定

(自民さが)
えがしら ひろみ
江頭 弘美



2



立地適正化計画の概要

問 佐賀市は、合併時の新市建設計画や中心市街地活性化計画等、都市政策計画を全国に先駆けて施行してきた。令和6年度計画予定の立地適正化計画は、都市再生特別措置法の改正で9年前から各自治体を取り組んでいる。なぜ、今まで計画がなされなかったのか。

答 立地適正化計画は市街化区域内に居住誘導区域と都市機能誘導区域を設定し、居住や民間施設の立地を緩やかに誘導し、市街地の空洞化を抑制するもの。本市の市街化区域は佐賀駅を中心に4歳四方の区域と諸富、大和の一部のみで全国的にもコンパクトな市街地で形成され、すぐに計画策定をという状況ではなかったが、人口減少、高齢化の進行により将来にわたり持続可能でコンパクトなまちづくりが求められるようになったため、令和4年度から策定に向け取り組んでいる。



デジタル地域通貨の導入はあるのか

(ネットワーク佐賀)
ふじた よしのり
藤田 佳典



3



がばいサカエー Pay スマートフォンアプリ

問 ①デジタルを活用し経済の活性化を目的とした本市の取り組みは②がばいサカエーのPAYが与えた経済効果は③デジタルを活用したコミュニティ強化の取り組みは④デジタル地域通貨の導入は今後考えられるものなのか。

答 ①がばいサカエーの地域振興券発行事業を実施。今後はキャッシュレス決済ポイント還元事業を実施予定②コロナ禍による来客数や売上の減少の抑止に一定の効果があったと認識③佐賀市公式スーパーアプリに搭載の「とびつくタウン」において、校区で開催されるイベント情報などを配信。今後、利用者がデジタルマップに地域のイベント等を入力したり、ボランティア活動への参加ポイントが付与される機能追加を検討中④先進事例の情報を収集し、調査研究を進めたい。



子どもに応じた多様な学びの受皿を

(公明党)
むらおか たかし
村岡 卓



4



すべての子どもたちに学びの機会をつくるために

問 国は今年3月、不登校により学びの場を確保できない子どもたちをゼロにすることを目指し、COCOLOプランを発表した。①佐賀市の現在の取り組みとの関連は②市として不登校対策の基本指針を明確に定めるべきでは③不登校特例校設置の検討は。

答 ①COCOLOプランの3つの目指す姿を念頭に置き、不登校対策の取り組みを充実させる必要がある。本市の取り組みでは、別室登校支援、教育支援センターの設置、学校でのアンケート実施、保護者との意見交換、学校評価を活用した学校づくりなどがある②不登校対策の取り組みを明らかにすることは大切。今後は対策の全体像が誰にでも分かるリーフレットを作成したい③現在、さまざまな形で教育を受ける場を提供している。不登校特例校についても研究したい。



デザインマンホール事業 今後に聞く

(自民政進会)
ながふち ふみたか
永瀧 史孝



5



サンライズストリートのデザインマンホール

問 ①デザインマンホール事業についての現在の進捗状況②上下水道フェアでの今後のマンホールPR策とは③プロスポーツチームのデザインマンホール制作はできるのか④マンホールサミットの誘致について⑤市長のマンホールサミット誘致の考えは。

答 ①小学校と協力してオリジナルマンホール蓋の作成や、マンホールカードを活用した合格祈願グッズなどを検討中②議員提案のマンホール総選挙などの魅力的なアイデアを参考とした③民間企業からは商品開発等について問い合わせがあつている。プロスポーツチームからも相談があれば積極的に関わっていききたい④まずは来年のサミットに参加し、開催の可能性を探りたい⑤本市を盛り上げるためのひとつの手段と捉え、開催については様々な可能性を検討していきたい。



高規格佐賀唐津道路の整備促進を！

(自民政進会)
つつみ まさゆき
堤 正之



7



多久佐賀道路の計画図
(国道事務所資料より転載)

問 ①佐賀唐津道路の工事の進捗状況は②東多久町から三日月町までの多久佐賀道路Ⅰ期工事計画の現状は③三日月町から国道34号までのⅡ期工事の現状は④このⅡ期工事区間は、事業主体さえ未決定である。国・県に對し事業促進の提案活動を一層強化すべきでは。

答 ①厳木多久有料道路と厳木バイパスは既に供用中。そこから唐津方面の約10kmはまだ事業化されていない。多久佐賀道路Ⅰ期は国の事業として調査設計に着手され、多久佐賀道路Ⅱ期は県で都市計画決定されたが、事業化はされていない。佐賀道路は県で用地買収や工事が進められている②現在、地質調査中。その結果を基に構造的な検討が行われる予定③事業主体が決まっていない④佐賀唐津道路で毎年要望活動を実施しており、今後も行っていく。



コンパクトシティの形成に向けて！

(自民政進会)
かむら ひろかず
嘉村 弘和



8



効率的で持続可能な都市へ

問 コンパクトシティの実現に向けた立地適正化計画の取り組みで、50戸連檐制度の見直しが必要になれば、人口の市外流出が考えられるので、佐賀市だけでなく周辺自治体を含めた都市圏の発想で広域的土地利用政策が必要。周辺自治体との協議の考えは。

答 「市街化区域、市街化調整区域を設定している自治体」に隣接している「市街化区域」を設定していない自治体」では住宅開発が進む事例がある。本市の50戸連檐制度を見直した場合、近隣自治体への人口流出になりかねないため、都市計画の広域連携は必要である。広域的視点でのコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりが重要であり、県や近隣自治体と広域化について模索していきたい。



食物アレルギーの積極的な改善を

(自民清流)
にしおか しんいち
西岡 真一



9



給食の食物アレルギー改善のために (写真はイメージ)

問 学校給食の現場では安全のために、事前に食物アレルギーの状況をしっかりと個別に把握し、情報共有して対応していることは理解しているが、例えばアレルギーに関する最新の知見や情報を保護者と共有し、積極的に改善につなげるような施策は考えられないか。

答 食物アレルギーは児童や生徒の生命に関わる重大な問題であるため、アレルギーを有する児童や生徒への給食の提供に際して、個別に対応を行っている。食物アレルギーそのものの改善は難しいため、医師の診断内容や児童・生徒の体調等について保護者と情報共有し、除去食や代替食等の対応により、今後一人でも多くの児童や生徒が友達と一緒に楽しく給食を食べられる環境づくりに努めていきたい。

※ 2 50戸連檐制度…市街化調整区域内のおおむね50以上の建築物が連檐している区域で、一定の条件を条leyで定めることにより開発行為を可能とする制度

(自民さが)
ちわた まさあき
千綿 正明



10

小学生の送迎の問題について

問 近頃、小学生の車での送迎に係る交通渋滞や隣接する公民館への駐車により本来の公民館利用者が駐車場を利用できない状況が見受けられるが①どのように対策しているのか②公民館に利用者以外の駐車を禁止している旨の看板等を設置すべきではないか。

答 ①児童の通学は特別な事情がある場合を除いて、原則徒歩となっている。交通渋滞や近隣の施設への駐車についての相談電話もあり、折に触れて、学校だよりや学校メール等により車で送迎しないよう保護者に伝えている。また、校長会等で通学は原則徒歩であることを保護者に伝えるよう依頼したい②公民館の駐車場は、関係のない方の利用は原則できない。今後、看板の設置等により注意喚起するなどの対策を講じていきたい。



通学路の安全確保
(写真はイメージ)

(公明党)
のなか のぶあき
野中 宣明



11

佐賀空港を生かしたまちづくりへ！

問 佐賀空港においては「アジアをターゲットとした九州の人流・物流の拠点化」を目指していくことを県が示されようとしている。空港立地自治体である佐賀市は、この「佐賀空港がめざす将来像」を今後の市南部地域のまちづくりにどう生かしていくのか。

答 佐賀空港の滑走路延長は、既存路線の増便等により人やモノの交流が拡大し、地域の発展に大きな効果が期待され、本市もさまざまな効果を生かしながら観光客誘致、地場産品の市場開拓や販路拡大等に取り組む必要がある。そこで市南部地域の物流拠点構想は、拠点設置による地域経済活性化の可能性を調査研究し、本構想の策定に向けて着実に検討を進めたい。取扱貨物は、農産品、水産品、半導体等を含め、南部地域の持つポテンシャルを活用し、その可能性を幅広く検討する。



「九州の人流・物流の拠点化」
を目指す佐賀空港

(自民政進会)
もろとみ やちよ
諸富 八千代



12

生理の貧困対策の先に目指す社会は

問 生理の貧困対策は、世界的な傾向としてジェンダー平等の実現へと進んでいる。昨年の一般質問で、小中モデル校での生理用品設置、公共施設で引換券の設置拡大を検討するとの答弁があったが、その後の対応は。また、市が目指すジェンダー平等の社会とは。

答 令和4年5月から小中各2校をモデル校とし生理用品の設置を開始した。児童・生徒へのアンケート結果を受け全ての市立小・中学校で設置するよう努め、今年11月末現在で設置率は約70%である。引換券は令和5年3月から8カ所に設置し、今年11月末現在で297個を配布した。今後、生理用品の常設を念頭に前向きに検討する。
市として、固定的な性別役割分担意識の解消や男性の育児休業取得率向上等に取り組む、ジェンダーギャップを意識しなくてよい社会を実現したい。



本庁1階トイレに引換カード。生理用品の設置を！

(緑楠自民)
なかの しげやす
中野 茂康



13

バルーン大会の反省と取り組みは

問 今年の佐賀インターナショナルバルーンフェスタは、海外選手が4年ぶりに参加し、コロナ禍前の国際色豊かな光景が戻った。①交通渋滞で競技開始が50分遅れたが、その原因と反省点は②将来にわたり大会を支えていくためのバルーンフェスタの後継者対策は。

答 ①天候と曜日の配列に恵まれ連休初日に観客が集中したこと、交通混雑や違法駐車車の発生があり、競技時間の遅れが生じた。その後、すぐに警備員の配置を見直すなどの対応を行った。今後はさらに駐車場の確保や警備員・誘導看板の適正な配置を検討し、支障が出ないように努めたい②佐賀大学に熱気球部があり、他県から入学され、熱気球を有する市内企業に就職する方もいる。若い世代の市民が熱気球に携わり、佐賀のバルーン文化を盛り上げていただくことを期待している。



離着陸時には国内外の選手と地元住民の交流が生まれます



佐賀市学校教育の現状と課題を問う

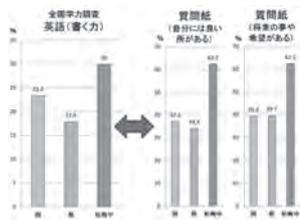
(自民さが)
かわさき けんじ
川崎 健二



14

問 ①総合計画の学校教育に係る成果指標を評価可能な内容にすべきでは②全国学力・学習状況調査の各学校の成果を研究し活用すべきでは③調査結果をもっと早く公表すべきでは④学力向上のために市が実施している研究・研修は⑤ホームページは速やかに更新を。

答 ①全国学力・学習状況調査の項目を成果指標とすることでの利点はある。成果指標に適したデータがあれば積極的に活用したい②よい結果の学校の取り組みを他校と情報共有し学力向上につなげたい③業務負担を考慮しつつ分析結果も早く公表するよう検討する④ICT機器活用での指導力向上や全国学力・学習状況調査の結果の分析による授業実践の研究、学力向上や特別支援教育に関する研修など⑤更新が滞っているものなど、内容を確認し、速やかに更新やコンテンツの見直しを行う。



成果を上げている学校を研究し、積極的に共有・活用を



困難な時代に対応する職員の育成を

(自民さが)
いなば たかひろ
稲葉 高広



15

問 複雑化・多様化する行政課題を解決するには職員の能力を最大限引き出すことが重要である。そのためには職員が多様な経験を積むことができる他組織への派遣研修が有効だ。その中でも民間企業への派遣研修が有効だと考えるが本市の見解は。

答 行政課題に柔軟かつ的確に対応するための能力を育成するために、JR九州、百貨店報道機関、旅行会社などの民間企業への派遣研修を行っていたが、SAGA2024国スポ・全障スポに向けた人員の確保などのため、令和元年度を最後に実施していない。民間企業での実務を経験することで新たな視点や知識を身につけ、行政の様々な課題に対応することができる職員を育成することは本市の施策の推進にとって重要であるため、再開に向けて検討していきたい。



複雑な課題解決には多様な経験が重要 (写真はイメージ)



人と犬猫等の動物が共生するために

(公明党)
なかしま たえこ
中島 妙子



16

問 ①飼い主へのマナー周知と市民への動物愛護の啓発を工夫するべきでは②夜間の動物病院が欲しいとの声があるが③地域猫活動者の毎日の餌代の負担も大きい。新たに餌代などの補助ができないか④補助をしている自治体の状況を調査することからできないか。

答 ①毎年行っている環境パネル展の際に、動物愛護や適正飼育の啓発について市民の目を引くよう工夫し実施したい②現在、夜間診療はされていないが、県獣医師会との意見交換の際、夜間の診療について話をしたい③新たに地域猫活動を行う自治会もあり事業費増が見込まれる。餌代への補助は現時点では困難だが、費用負担軽減のため捕獲機貸出は継続したい④餌代等を補助する自治体の調査は可能。地域猫活動は1割弱の自治会しか実施しておらず、まずは取り組む自治会を増やしたい。



ずっと愛情を持って飼いましょう! (写真はイメージ)



一人一台の学習用端末活用を急げ!!

(自民政進会)
ふくい しょうじ
福井 章司



17

問 市内の小・中学校に一人一台配置の学習用端末について①なぜ活用が遅れているのか②故障等での修理費用の市負担額は③教師向け研修の内容は④この研修は全市的に行うべきでは⑤不登校児童・生徒への活用は大丈夫なのか⑥校務改善等に今後活用できないか。

答 ①教員の習熟に課題があると考える②令和4年度は約1300万円である③実際の使用場面を想定した研修内容であり、教員間の意見交換も行われた④各学校の教育情報化推進リーダーを対象に研修を行っている⑤懸念される事項はあるが、全ての子どもへの学びの機会を確保し、不登校対策にも積極的に取り組む⑥現在もさまざまな教育活動や校務に役立てている。今後さらに業務改善を進めるため、新たな校務支援ソフトの導入を検討している。



学校にある一人一台の学習用端末。もっと活用しよう!



通学路の歩道整備の早期完了を！



学校付近の歩道の幅は、約1メートル

問 国道444号の南川副小学校南側の歩道は、合併前の川副町で最優先の整備箇所とされていた。しかし工事の進捗は遅れており、今年度中の完了は難しい状況である①工事の進捗状況は②整備の延長と歩道幅は③工事完了の時期は。

答 指摘の歩道は合併前の最優先箇所、小学校からも拡幅が要望されていることは承知しているが、国道444号を整備している県に確認したところ①事業用地の取得は完了し、現在工事の準備中である②延長は約58・5メートルであり、幅員は現況の約1メートルから約2・2メートルに拡幅する計画である③本年10月に工事の入札不調があり、現在、再入札の手続を行っており、令和6年夏頃の工事完了を目指したいとのこと。



「子どもの医療費助成」の拡充を！



高校生も安心して医療を受けられる体制に

問 本市では現在、中学生までとなっている子どもの医療費助成制度。高校生年代は、思春期特有の疾病や怪我で医療機関を利用する人も少なくない。また、何かとお金がかかる年代でもある。全国的にも拡充傾向にあり、本市でも高校生年代までの拡充ができないか。

答 高校生年代まで拡充した場合、毎年約1億2千万円が必要と試算しており、継続した財政負担が見込まれるため慎重な判断が必要。近隣県では、県の補助拡大が市町村の助成対象を拡大する契機になったと聞く。佐賀県に対し小学生以上の補助拡大を要請しており、その拡大が高校生年代までの助成対象拡大につながるかと考える。保護者にとつては受診しやすい環境や経済的な負担軽減につながることから補助拡大は期待が大きいと認識しており、引き続き県に強く要望する。



オスプレイ事故の市民説明会を



目達原駐屯地で説明を受けた時、屋久島沖では墜落事故が

問 11月末、屋久島沖で米空軍CV22オスプレイが墜落し乗員8名全員が死亡する重大事故を起こした。市長の駐屯地受け入れ表明後も、死亡事故や陸自機の緊急着陸などが続いている。受け入れを判断した市長の責任で、防衛省を呼んで市民説明会を開くべきでは。

答 オスプレイの運用は、防衛省が責任を持って最大限の安全対策を行い、安全性を確保する必要があると認識している。防衛省からは、今回の事故を受けた地元への懸念の声を真摯に受け止め、不断に情報収集を行い、得られた情報を基に適切に情報提供を行う旨の説明を受けており、市として、まずはオスプレイの安全対策を徹底するとともに、情報を速やかに提供することを求め、得られた情報を適切に公開していきたい。



東与賀町・川副町の水道料金格差是正



毎日使う水道は公平公正な料金設定に！

問 佐賀市と川副町、東与賀町は、水道料金にまだ格差がある。川副町、東与賀町も佐賀市なので、水道供給は佐賀市上下水道局が行ってほしい。現在工事中の佐賀駐屯地（仮称）完成までには水道料金の格差をなくすべきであると思うが市長の見解は。

答 川副町、東与賀町における水道料金の不均衡は、佐賀市上下水道局と佐賀東部水道企業団という異なる水道事業体の給水区域や料金設定の相違に起因するものである。これまで、基本料金の統一や補助による対策に取り組んできた。今後とも、社会情勢の変化や人口動態等も見据えながら、佐賀東部水道企業団との連携も含め、不均衡を是正するためのあらゆる可能性を検討し、より良い水道事業を展開できるように取り組みを進めたい。



市有地や公園・広場等の利活用を

(公明党)
なかむら ひろし
中村 宏志



22



造成後 29 年程が経過。「しずか池と樹林地と多目的広場」

問 ①造成後29年程経つ久保工業団地内の公園は利用者が少ない。売却を検討しては②市所有の公園や広場における熱中症対策は③久保工業団地内公園の活用についての相談は④駐車場付きのしずか池公園について、官民連携等の民間の力による活用はどうか。

答 ①工場立地法上、一定面積の公園、緑地の整備が必要で、公園の用途を廃止し、売却することは困難である②木陰を意識した公園整備を実施していく③スケートボードやグラウンドゴルフの練習場としての利用について、地元住民から相談があった。それぞれ利用は可能とした④公園の利活用については、公園利用に支障がなく、公園の利便性向上につながれば問題ない。民間による公園内施設等の設置は、行政財産の目的外使用となるが、利活用の相談があれば、内容を伺いながら対応する。



神野公園の未来について考えよう！

(自民清流)
みくりや ひろゆき
御厨 洋行



23



佐賀市の人気レジャー施設 神野公園・こどもゆうえんち

問 ①駐車場を集約し収容台数を増やすべきではないか②広場や駐車場の確保、子どもの安全のためトンボ池は廃止すべきでは③犬の水飲み場やリードフックなど犬連れで散歩し易い環境整備を求めるが④園路整備を求めるが⑤防災機能の充実を求めるがどうか。

答 ①再整備計画はまだ議論の過程の段階。駐車場の問題は、再整備検討委員会の中で検討を進めていきたい②トンボ池は存続する方向。学びの体験のほかに、新しい楽しみ方を提供できないか検討が進められている③犬の散歩に特化した整備はまだ検討していないが、利用者が尊重し合い、共存できる空間にしていきたい④限られたスペースや利用者の安全確保の面も踏まえ、考えていきたい⑤防災関連施設整備については、再整備検討委員会内の意見を聞きながら検討していきたい。



佐賀市南北軸の公共交通の強化を

(自民さが)
みやぎき たけし
宮崎 健



24



日田彦山線で運営が開始された BRT

問 コンパクトシティを目指す本市において拠点区域を結ぶ南北軸の公共交通網の強化が必要と考えるが①旧佐賀線跡を利用した BRT を検討してはどうか②富士大和温泉病院を起点に同じく佐賀空港までの BRT を検討してはどうか。

答 ①立地適正化計画では市中心部と諸富支所周辺を公共交通で結び、利便性向上を図ることは重要と考えているが、並行している国道208号には市営バス、西鉄バスが運行され、拠点間の公共交通は確保されており、BRT 導入は困難と考える②佐賀空港の物流拠点化で公共交通ネットワーク強化は重要となる。また、バス利用者増とそれに対応する輸送力確保も必要。今後の南部地域開発等に応じたネットワーク強化は必要であり、交通事業者等と協議していくことになる。



子育て支援の充実で人口減少対策を

(自民清流)
ひらばる よしのり
平原 嘉徳



25



市の人口減少は喫緊の問題です！

問 本市は合併後に人口が約8千人減少しており、川副町が3027人と最も減少。一方福岡市は年間1万3千人増加している。本市は人口減少対策として、給食費や第二子以降の保育料の無償化など、子育て支援に重点を置いた大胆な政策を断行すべきではないか。

答 少子化問題も重要な課題であり、人口減少への対応は本市の現状を分析し、世代ごとに人口流出を抑える取り組みが重要と考え、今から何をすべきかを全庁的に検討を進めている。来たるべき人口減少社会への対応は最重要課題の一つであるという認識を持ちながら、未来に向けて総合計画の検討を行う中で、効果的で実効性のある施策に全力を挙げて取り組むたい。

※ 3 BRT(Bus Rapid Transit)…走行空間、車両、運行管理等に様々な工夫をすることで、速達性、定時性、輸送力について、従来のバスよりも高度な性能を発揮し、他の交通機関との接続性を高めるなど利用者に高い利便性を提供する次世代のバスシステム

中小企業・小規模事業所への支援

問 中小企業等は地域経済を支える重要な存在である。①佐賀市中小企業・小規模企業振興条例施行後の施策について②中小企業等の今後の事業展開をどのように把握しているのか③中小企業等における経営の強化について佐賀市の取り組み方針を示せ。

答 ①施行後物価上昇等の影響を受けている事業者や住民生活を支援するための緊急的な施策を中心に組み組んできた②業務改善によるコスト削減、販路拡大による売上増加、それらを推進する社内人材の育成が重要視される傾向で、企業の稼ぐ力の強化が重要③業務改善・効率化に向けてデジタル化やDX推進の実効性を高めるため、企業を直接訪問し経営課題の整理から丁寧な伴走支援する予定。地産地消の推進に向けたマッチング等、総合的な推進で活力ある中小企業の振興を図る。



地域を支えるさまざまな業種

島義勇没後150年記念事業を

問 来年度は、島義勇公没後150年の節目にあたる。その功績は顕著で、北海道の開拓使判官として札幌市の都市計画の基礎を作る等、多くの事業を成し遂げた偉人である。功績を顕彰する記念行事の開催や札幌市との交流事業が必要と考えるが、市の見解は。

答 島義勇をはじめとする佐賀出身の偉人を広く知ってもらう機会をつくることは大切である。県において島義勇をテーマにした顕彰事業が検討されているとのことであり、札幌市や県と情報共有しながら、役割を踏まえて顕彰できればと考えている。交流事業については、他の事例等を参考にしながら具体的な内容を検討したい。



城内西公園に建つ島義勇公

視察報告

福祉教育委員会

視察者9名
村岡、西岡真一、川崎、諸富、川副、松永憲明、重田、福井、山下

令和5年7月18日(火)

長野県長野市

◎学校部活動の地域移行に関する先進的な取り組みについて

指導者や活動場所の確保等、地域移行に際して検討を要する事項について幅広く調査を行い、地域移行に向けた課題について理解を深めた。



視察の様子

議会運営委員会

視察者10名
山口、松永憲明、西岡真一、村岡、山田、宮崎、松永幹哉、重松、江頭、川原田

令和5年10月5日(木)

愛知県豊田市

令和5年10月6日(金)

三重県津市

◎議場設備について

豊田市は議場全体のバリアフリーが

行われていた。また、現在、聴覚障がい者の議員が在籍しており、本会議中など手話通訳者を議員の前に配置していた。

津市は最前列および演台のバリアフリーが行われていた。また、個別マイクや大型モニターの設置を行っていた。豊田市・津市は共に大型モニターや個別マイクについて、今後設置や運用について研究を重ねており、本市もその動向を注視したい。



三重県津市



愛知県豊田市